

詳細情報

新しい防災気象情報（令和8年5月29日から運用開始予定）

○主な変更について

- ・ 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表されます。
- ・ 特別警報（レベル5）と警報（レベル3）の間のレベル4相当の情報として「危険警報」が新設されます。
- ・ すべての情報が「レベル〇〇+現象名」で統一されます。（例：レベル4大雨危険警報 等）
- ・ 対象外分野の特別警報・その他の警報は従来どおりで、レベルの数字はつきません。

○学校の対応

- ・ レベル5（特別警報）の際は自宅待機、校内にいる際は校内待機とし、引き渡しは難しいとします。
- ・ レベル4（危険警報）の際は自宅待機、校内にいる際は校内待機もしくは引き渡しとします。
- ・ レベル3（警報）の際は安全に気を付けて平常登校としますが、周囲の状況等を踏まえ判断してください。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

○警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報（暴風・波浪・大雪・暴風雪）

- ・ 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、従来通りです。
- ・ これら情報は気象庁 HP 等では、特別警報は黒、警報は赤を用いますが、警戒レベルには相当しません。

○学校の対応

- ・ 暴風・暴風雪警報は、午前6時以前に解除された場合は通常登校とし、継続して警報が出ている場合は授業中止とします。通学途中の道路等の冠水や河川増水等で登校が危険な時はこの限りではありません。校内の場合、気象や通学路状況等を判断して生徒が安全に帰宅できると判断したときは、「teturu」で下校時間等を含めて保護者に周知し、授業を中止し速やかに下校させます。
- ・ 特別警報は、始業前は原則警報時と同様に対応します。特別警報解除後、学校から登校可の連絡が出されるまでは翌日以降も含め自宅待機とし、登校判断は学校公式ウェブサイト並びに「teturu」にて周知します。
- ・ 校内にて特別警報が発令された場合は、即刻授業を中止し、校内にて生徒の安全を確保します。保護者に引き渡しての帰宅を安全に行えると判断するまでは学校で保護・待機させ、保護者への引き渡しとなった場合についての具体的な方法や時間等は、「teturu」にてお知らせし、必要に応じて電話連絡等で補足連絡をさせていただく場合があります。
- ・ 大雪警報・波浪警報は交通安全も含めた安全確保に留意しつつ、原則通常通りの登下校とします。

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、 濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

市町村が発表する避難情報

- ・ 安城市は、警戒レベル相当情報(気象庁発表)などを参考に総合的に避難指示等の発令を判断します。
- ・ 警戒レベル(安城市発表)は、とるべき避難行動が直感的にわかるように、5段階に整理したものです。
- ・ 警戒レベル4以上は原則自宅待機とし、校内にいる場合は引き取りもしくは校内待機とします。

(例:警戒レベル4＝避難指示、警戒レベル3＝高齢者等避難)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに 安全確保！	緊急安全確保
<警戒レベル4までに必ず避難！>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

【その他】

- 学区が危険と判断した際は、本校独自に臨時休校のお知らせを「tetoru」の連絡配信にて送信します。
- 警報発令や学校からの指示の有無を問わず、保護者判断により登校危険と判断した場合は決して無理して登校せず、学校に連絡をするとともに、生徒の安全確保に努めてください。
- 学校にいる場合、気象や通学路状況等を判断して児童が安全に帰宅できると判断したときは、「tetoru」で下校時間等を含めて保護者にお知らせし、授業を中止し速やかに下校させます。
- 通学路が危険と認められる場合等で帰宅が困難と判断されるときは、保護者引き渡しによって下校させることとなります。その際も、「tetoru」において引き渡し方法を含めて保護者にお知らせするとともに、お迎えがあるまでは学校で保護・待機させます。

【強風・竜巻や局地的な大雨（注意報・警報を含む）等の気象状況に見舞われた場合の対応】

- 安城市に暴風(暴風雪)警報・特別警報が発表されていない状況でも、強風・竜巻・大雨等の局地的な気象状況により生徒の安全確保に困難が予想される場合があります。本校区の地理的状況等により、一部地域の生徒に休校等を決定することもあります。また、特別警報が発表されていない場合も、今後の状況が児童の安全に著しく影響を及ぼす状況などを想定して、事前に休校とする場合もあります。
- 学校からの指示がない場合においても、生徒の安全を第一に考え、登校は、保護者で判断してください。保護者判断により登校を見合わせた場合は、「tetoru」等で必ず学校に連絡してください。この場合は遅刻・欠席とはいたしません。(本市は給食費無償化となっておりますが、緊急対応のため、給食自体のカット等できません。ご了承ください。)
- 安城市域において波浪特別警報・波浪警報が発令されるかどうか不明です。今後の推移を見守ります。なお、この対応は安城市の指針に基づいて安城南中学校で検討されたものです。
- ・市内小中学校は基本的には同じ対応ですが、生徒の登下校の判断や保護者引き取りの方法等、細部は各校で異なります。それぞれご確認くださいませようお願いします。
- ・公私立に関わらず保育園・こども園・幼稚園、高等学校等の教育機関、児童クラブ等につきましては、学区の範囲や通学方法等も違うため、対応が異なります。こちらにつきましても、それぞれご確認くださいませようお願いします。
- ・局所的・突発的な気象の変化や災害等で、身の危険が感じられる状況も想定されます。警報発令や学校の指示の有無を問わず、登校が危険だと判断される場合は無理をせずに学校に連絡し、生徒の安全確保に努めてください。また、日頃よりご家族で緊急時の対応について話し、通学路等の安全確認や注意事項の共有をさせていただくなど、緊急時の対処方法を児童と確認していただきますようお願いします。

(問い合わせ先 安城市立安城南中学校教頭 TEL0566-75-3531)